



世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度
 国際ロータリーのテーマ
 Be a gift to the world
 世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度
 名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
 輝いて行動しよう!!
 ～Go Go Go～

Weekly Report

第1718回例会

～R財団月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2015年11月5日(木) 晴れ 第17回

司会：鳥山政明会場委員
 斉唱：「我等の生業」
 ゲスト：地区補助金委員会委員長 櫻井繁さん
 米山奨学生 徐凌歆さん
 ビジター：名古屋南RC 近藤禎男さん

会長挨拶

伊藤豪会長

皆様こんにちは。今日は、3週間ぶりのヒルトン名古屋での例会です。その間ロータリーのイベントが続きましたので、報告をさせていただきます。

10月24・25日には、ロータリーチャリティーイベント、第3回WFF(ワールドフード+ふれ愛フェスタ)が開催され、好天に恵まれて会場は大盛況で、来場者は過去最高の70,000人だそうです!もちの木広場のメインステージ、テレビ塔下のサブステージでは、愛知県警音楽隊、ペルー音楽、ブラジルサンバ、名古屋芸術大学音楽学部の演奏があり、特にOSUオンステージは「元気はつらつ、若さびちびち」で大変盛り上がっていました。

RACのバザー、IACのボランティア等と共に、今年から始まった各分区単位での催し、各RCの紹介写真なども掲示されてロータリー一色でした。

メインのフードに関しては、世界20カ国以上の国の料理や飲物などの専門店が出展し、来場者の方はバラエティー豊かな味を堪能していました。さらには世界各国の特産品、工芸品も販売され大いに賑っていました。

このチャリティーの収益金は、ミャンマーの子供たちの為の水事業・教育事業やポリオ撲滅支援金となります。今後もより充実する事に努め一般市民の皆様にもロータリーを知っていただく「ロータリー2760地区の一大イベント」になると良いと思いました。

10月31日、11月1日には、地区大会が盛大に開催されました。岡崎東RCがホストクラブとなり、加藤ガバナーの方針「ロータリーの原点に学ぶ～友情と寛容の輪を拡げよう～」に沿って、ロータリーのビジョンを共有し、質素にして格調高く思い出に残る大会でした。RI会長代理は、韓国国際ロータリー第3700地区バスタガバナー任昌坤(YIM, CHANG_GON)氏をお迎えしました。

1日目は岡崎高等学校のコーラス部による素晴らしいオープニングに続いて、任昌坤氏がRI会長K.R.ラビンドランのテーマ「世界へのプレゼントになろう(Be a gift to the world)」 「ポリオのない世界」を熱く語られました。

大会議事では、前年度の地区会計長の森恒夫さんの決算報告、小串和夫さんの監査報告が行われました。午後6時からは、RI会長代理歓迎晩餐会が催され、アトラクションには津軽三味線なども行われ和気満々のうちに1日目は終了しました。2日目は、光ヶ丘女子高等学校ダンス部による華麗なダンスのオープニングで始まり、RI会長代理メッセージならびに現況報告・記念事業の発表と

目録贈呈などが行われました。

午後3時からは、東海旅客鉄道の代表取締役名誉会長の葛西敬之氏による「東海道新幹線とリニア中央新幹線」をテーマとした記念講演会が行われました。その後、感謝状贈呈式と表彰式が行われ、加藤ガバナーより、近藤バスタガバナーに感謝状と記念品が贈呈されました。

RI会長代理の講評では、「すばらしい地区大会でした。一生忘れません。」との言葉で締めくくって頂きました。

「2016年の国際大会はソウルで開催されます。今、ソウルでは、さまざまなプログラムを用意しています。ぜひソウルに来ていただき再び皆様と友情を分かち合えることを期待しています。」とのメッセージもありました。

ニコボックス

渡辺喜代彦ニコボックス委員

・R財団月間に因み、卓話をさせていただきます。よろしくお願い致します。

櫻井 繁さん

・櫻井さん、卓話楽しみにしております。4RC合同ゴルフ大会、念願の優勝おめでとうございます。長崎五島列島では、岩田さん、松波さんはじめ皆さんにお世話になりました。

鈴木 淑久さん

・加齢街道をたどたどして、休み街のうちに彦が2人生まれました。

江口 金満さん

・妻の誕生日にきれいな花を頂き、大変喜んでいました。野崎さん、先日は大変お世話になりました。本当に楽しい1日を過ごさせて頂きました。

市岡 正蔵さん

・岩田修司さん生誕の地、長崎五島列島福江島に行って参りました。美しく、おいしくて、素晴らしいところでした。来年もまた行きますから、岩田さんよろしくお願いします。ありがとうございました。忘れていましたが11月1日は結婚記念日でした。

松波 恒彦さん

・11月22日は誕生日で、遂に傘寿になります。

森 恒夫さん

・R財団補助金委員長の櫻井繁さんをお迎えして。

伊藤 豪さん

・先週、新会員研修会を受講しました。ロータリーの歴史や精神を勉強させて頂きました。懇親会も含め、先輩会員の皆さんの個性豊かな人柄にも触れることが出来ました。ありがとうございました。

高原 昌宏さん

・岩田さん、松波さん、いろいろとお世話になりました。

堀 慎治さん

・直前会長岩田さんの生まれ故郷、五島列島に行って来ました。とってものどかで良い所でした。岩田さん、松波さん、堀さん、鈴木淑久さん、ありがとうございました。

湯澤 信雄さん

・櫻井さん、本日卓話ありがとうございます。体大切に下さい。佐治 寛行さん

・本日初めての司会を務めます。緊張しています。宜しくお願いします。

鳥山 政明さん

出席報告

渡辺喜代彦出席委員

会員67名 出席40名 (出席計算人数47名)

出席率 72.7% 11月 1日は補填により 100%

幹事報告 梅村昌孝幹事

- ・ 本日13:40から第3回CA・第5回理事会をヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて行います。
- ・ 11月12日(木)はR規定により休会となります。
- ・ 11月19日18:00からボジョレーヌーボ例会をイーオリエンタルバンケットにて行います。

委員会・同好会報告

職業奉仕委員会:松波恒彦委員長

1月22日(木)職場例会を行います。人数把握のため、出欠席まだの方はご連絡お願い致します。

ゴルフ部会 11月度(第364回) 開催日:11月6日(金)

氏名	グロス	HDCP	ネット
優勝 関谷俊征さん	83	7	76
2位 中野健二さん	85	8	77
3位 山口哲司さん	76	+2	78

第365回12月度ゴルフ例会は12月16日(水)、名古屋ゴルフ倶楽部和合コースにて開催し、18:00から蓬萊軒神宮店にて忘年会が開催されます。

11月誕生日おめでとう

川本 昌市さん 森 恒夫さん

卓話 地区補助金委員会委員長 櫻井繁さん

ロータリー財団の今と戦略計画

本日はR財団について若い新会員の方に知って頂きたいと思います。

名古屋瑞穂RCの昨年度の寄付実績は、年次基金総額15,980ドルで1人当たり寄付額238.5ドルでございます。ポールハリスソサエティー1名、ベネファクター17名、大口寄付者2名、マルチプルポールハリスフェロー5名、ポールハリスフェロー48名です。ありがとうございます。



1917年にアーチC・クラフRI会長が、世界で良いことをするために基金を設置されました。この年は第一次世界大戦中であつたにも関わらず、ロータリーの精神を確認し、26ドル50セントの寄付からスタートしました。その後、基金はR財団と名付けられ、10億ドル以上の寄付を集める財団となりました。

1946年、財団初のプログラムとなる国際親善奨学金がスタートしました。ロータリー創設者のポール・ハリスが亡くなると、多くのロータリアンからRIに寄付が寄せられ、ポール・ハリス記念基金となりました。1978年には補助金プロジェクトの第1号として、フィリピンの600万人の子供たちにポリオの予防接種が実施され、ポリオプラス・プログラムが設置されました。1987年には平和フォーラムが開催されました。

また、2760地区は未来の夢計画のパイロット地区に選ばれた為、他の地区よりも早い段階で補助金について勉強をさせて頂きました。

R財団はRIの方針・戦略を受けて具体的な活動を推進します。RIでは、クラブサポートの強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上の戦略計画をあげています。これらを実行するため優先項目があります。1つ目は、2018年までにポリオを撲滅する計画で、現状では資金が不足しているため、R財団で寄付を募っています。2つ目は、R財団に対するロータリアンの知識・参加・寄付の向上をはかるということで、R財団セミナー、卓話の実施、地区補助金セミナーの予定をしております。3つ目は、R財団の補助

金とロータリー6つの重点分野を通じて人道的奉仕の質と影響を高めることです。奉仕プロジェクトの推進、グローバル奨学生、平和フェローの増加、VTTプロジェクトの実施が上げられております。4つ目はR財団100年の歴史に注目し、認識を高めることで、一般の人々のロータリーの認知度向上策の実施を行います。

R財団の寄付には、年次基金、恒久基金、使途指定基金があります。1人あたり毎年150ドルの寄付をお願いしているのが年次基金です。最高で75%が3年後に地区活動資金として戻ってきます。恒久基金は寄付の元金を使わず、運用益のみ奉仕プログラムに利用します。1,000ドル寄付をするとベネファクターとして認証資格が得られます。使途指定寄付は、ポリオ、奨学金等の使途を決めて寄付をするものであり、税制上の優遇措置も受けられます。

資金は運用後、活動資金として地区に分配され、地区活動資金と国際活動資金に分かれます。国際活動資金は申請すると半額戻ってきます。残りはポリオ等の資金に充てています。

地区活動資金は地区補助金とグローバル補助金に分かれます。地区補助金は比較的小さい社会奉仕に使用しております。グローバル補助金は海外RCと提携して行う事業に使用する補助金です。

R財団には6つの委員会があります。資金管理委員会は、補助金が約束通り使われているかを管理します。資金推進委員会はプロジェクトの実施にあたり、補助金活用を推進する委員会です。各クラブからの補助金申請を、R財団から許可が出るようにお手伝いをさせて頂いております。VTT委員会は、昨年マレーシアにて院内感染予防の指導を名古屋市との協力を得て実施しています。奨学生、平和フェローの派遣と学費を強化するための委員会は現在、沢谷奈津子さんが平和フェローの勉強でアメリカ留学しております。奨学金基金は終了し、グローバル補助金がスムーズに申請できました。その他にイギリスで平和と紛争予防、アメリカで疾病予防と治療を学ぶ奨学生がいます。ポリオプラスの委員会は、毎年RACとインドにワクチン投与に行っています。来年1月にインドへ行く予定ですので、興味のある方はお声掛け下さい。

最後に地区補助金のご説明をさせて頂きます。現在すでにご利用されているかと思いますが、今年は59件、2,560万円の補助金を使って頂いております。主な内容としては、青少年育成事業が一番多く、海外社会奉仕事業が8件あります。補助金のルールとしては、申請は2016年1月～3月の間、100万円まで受付ます。グローバル補助金に関しましては地区から5万ドル未満が出ますので、チャレンジして頂きたいと思います。今後とも、R財団へのご理解、ご協力を宜しくお願いします。

- 寄付者個人への認証名
 - 寄付者には感謝を“認証”という形で表します
 - 【ポールハリスフェロー/マルチプルポールハリスフェロー】年次基金、ポリオプラス基金で、10,000ドル以上寄付した個人
 - 【メジャードナー】10,000～250,000ドル以下まで4段階
 - 【アーチC・クラフ・ソサエティー】250,000ドル以上の寄付をした個人
 - 【ベネファクター】恒久基金に1,000ドル以上寄付か、遺贈先をR財団に指定の場合
 - 【大口寄付者】10,000ドル以上を一度に寄付した個人
 - 【ポールハリスソサエティー】毎年1,000ドル以上の寄付を申請・認証された個人

例会のご案内

- 今週 11月12日(木) R規定により休会
- 次週の行事 11月19日(木) ボジョレーヌーボ例会
 - 場所：イーオリエンタルバンケット
 - 時間：18:00～20:00
- 次々週卓話 11月26日(木)
 - テーマ：イニシエーションスピーチ
 - 会員卓話：鳥山政明さん